



Habari ya Kenya

☆JICA 海外協力隊 ケニア通信 No.2☆ 2026年8月3日 発行者: 夏目佳代子

Habari gani? (ハバリ ガニ?) お元気ですか? 今回から、ケニアから通信をお届けします!

☆恵那からケニアへ!

40度近い日々が続く中、7月27日に日本を出発しました。飛行機は成田空港を1時間半ほど遅れて夜10時ごろ離陸し、まずは韓国の仁川(インチョン)空港まで約2時間。飛行機を降り、手荷物検査をした後、再び同じ飛行機に乗ってエチオピアのアジスアベバ空港へ。今度は12時間のフライトです。人生で初めて降り立ったアフリカの地、アジスアベバは雨でした。乗り継ぎで数時間待ち、いよいよケニアへ! しかし、搭乗口に並び、最初に並んでいた人たちがバスに乗った後、全く動きがありません。すると、30分遅れるとのアナウンス。バスに乗っていった人たちも戻ってきました。しばらく待って再び搭乗口に並ぶと、今度は搭乗ゲート変更のアナウンス。乗客みんなで飛行場を大移動。今度は無事に搭乗でき、1時間半ほどのフライトでようやくナイロビに着きました。入国審査や手荷物検査を受けて空港の外へ出ると、JICAのスタッフが待っていてくださいました。みんなでバンにのり、ホテルへ向かいます。高速道路に入ったところでETCが反応せず、バーが上がりません。バックして何度か試してみても×のまま・・運転手さんとETCの係員があれこれ試し、ETCに充電器をつないだら、バーが上がりました! なんと、車内のETC機器の充電切れでした・・ホテルに着いた時、飛行機が成田を出発してから26時間ほど経っていました。無事についてよかった!



☆チームケニアのみんな

☆ケニアのビックリ! その1: 涼しい~!

ホテルに着くと夕方6時。日がかげると一気に涼しくなりました。半袖では寒いです。次の日の朝の外の気温は18度! ナイロビは赤道に近いですが、標高が1600mほどあるので、朝晩はとても涼しいです。特にこの時期は1年で一番寒くなる時期だそうです。でも、日中は気温が30度ほどまで上がり、日差しも強いです。町を歩いている人たちは、ダウンを着てマフラーを巻いている人もいれば、半袖の人も。湿気もそれほど高くないので、日本の夏と比べると過ごしやすいです。

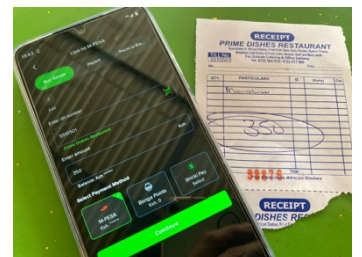
☆ケニアのビックリ! その2: どこでも M-pesa

ケニアに着いた翌日、まず行ったのはスマホの開設。ショッピングモールにある Safaricom (サファリコム) というケニア最大手の携帯電話会社のお店に向かいました。ここでSIMカードを購入し、店員さんに設定してもらいました。様々なプランがあり、1ヶ月 All-in-one の1000シリング(約



1200円) パッケージは、通話400分、データ8GB、SMS無制限、Whatsapp (LINEのようなメッセージ・通話アプリ) 無料がついています。

←ケニア生活で欠かせないのが、この My OneApp アプリ。ここから M-Pesa (エムペサ) が使えます。M-Pesa とは、ケニア発のモバイルマネーです。ケニアシリングを M-pesa のアカウントに入金しておく、銀行口座がなくても「支払い」「送金」「受け取り」ができるのです。それぞれのお店のレジあたりに TILL No. (ティルナンバー) という6桁の数字が掲示されており、その数字と金額を入力します。支払いを済ますと、SMS で支払いができたというメッセージが届くので、それを店員さんに見せたら支払い完了です。スーパー、ローカル食堂、そして、道端の露店などでも M-pesa が使えます。とても便利です。



☆食堂では値段が書かれた紙を渡されるので、M-pesa で支払います。

☆ケニアのビックリ！ その3：レジ袋がない！

ケニアの空港には、「レジ袋をここで捨ててください」と書かれたゴミ箱が置いてありました。ケニアには、いわゆるレジ袋はありません。2017年からプラスチックのレジ袋の製造、販売、使用、国内への持ち込みが禁止されています。（ジップロックなどは大丈夫だそうです。）サファリCOMの店舗も入っているショッピングモールには、カルフルというフランス資本のスーパーが入っています。レジの近くにエコバックが売っていました。さすがサファリの国ケニア、ライオンやサイなどの動物の大きな写真と国旗がついています。私はゾウを買いました。39シリング、日本円で50円くらいです。カルフルはアメリカのスーパーとよく似ていて、食品から日用品まで、生活に必要なものはそろいそうです。日本と比べると値段は高いですが、しょうゆやうどんも、売っていました。



☆縦横 約38cmです

☆ケニアのビックリ！ その4：大都会ナイロビ

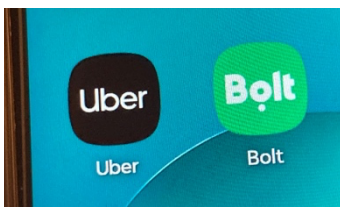
スマホの開設と日用品の買い物を済ませた後、JICA ケニアのオフィスに向かいました。オフィスはブリタム・タワーというビルの中にあります。ブリタム・タワーはなんと31階建て！ケニアで一番高いビルです。23階のオフィスから外を眺めると、その景色にびっくり。ビルが立ち並んでいて、その向こうにはサファリかなと思われる平野が広がっています。標高1600mといっても、山に囲まれているわけではないので、標高の高さはあまり感じません。こんな景色を見ながら、研修を受けています。



☆23階のオフィスからの眺め

☆ケニアのビックリ！ その5：移動はUber タクシー

ナイロビの町中を走っている車は、トヨタ、日産、マツダ、スズキなどなど大半が日本の中古車です。イギリスの影響で日本と同じ左側通行。なので、日本と同じような風景・・・と思いきや、車線はあってないような感じ、割り込んでくる車もいれば、車の脇をすり抜けていくバイクもいます。横断歩道はなく、車が走っていてもその合間をぬって道路を渡る人もたくさんいます。信号はほとんどなく、ラウンドアバウトが設置されていますが、みんな我先にとラウンドアバウトに入ってくるので、常に車がぶつかりそう。警官が交通整理をしている交差点もありますが、みんな見ているのかなあ。ぶつからないのが不思議なくらいです。市内は、マタツと呼ばれるカラフルにペイントされたバスや、ボダボダと呼ばれるバイクタクシー（バイクの後ろにお客さんが乗ります。2人乗っていることも！）も走っています。安全対策措置上、JICA オフィスの周辺以外は歩くことができないので、市内の移動



はUberやBoltなどの配車アプリでタクシーを呼びます。目的地を入力し、乗車人数に応じて車のサイズを選ぶと、タクシーの運転手とナンバー、車種が示されます。タクシーといっても、車種はいろいろ。何度か乗りましたが、すべて日本の中古車でした。軽自動車は、スワヒリ語で「早く、急いで」という意味の「チャップチャップ」と呼ばれ、他の車種より低価格です。車内

は日本で使われていた時のまま。日本語のシールなどが貼られています。ナビに東京駅周辺の地図が表示されている車もありました。ケニア人に一番知られている日本語は、「ETCカードが挿入されていません。」だとか。UberにもM-pesaのアカウントが登録できるので、支払いも簡単です。

町の様子を写真でお伝えしたいのですが、安全対策上、ナイロビでは車内などから写真撮影ができないのが残念です。また、ショッピングモールはどこも写真撮影が禁止されています。

これから1ヶ月ナイロビに滞在し、銀行開設など生活の基盤を整え、活動や健康管理、安全対策などのブリーフィングやスワヒリ語のレッスンを受けます。次号もお楽しみに！